

平成27年12月11日 東京証券取引所市場第二部に市場変更

当社は昭和56年2月の設立以来、今年で35周年を迎えました。また、平成13年7月にジャスダック市場に上場してから今年で15年になります。この記念すべき節目の年に東京証券取引所市場第二部への市場変更という新たな一歩を踏み出すことができましたのも、皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。役員・社員一同決意を新たに、上場企業としての社会的責任を果たすべく、事業活動を通じて社会全体の発展に貢献できるよう努力して参ります。



Cloud Shared Office [ASPICベスト海外展開賞]を受賞、及び「クラウドサービス認定プログラム」に認定

CSOは海外展開している顧客先との実績が評価され、「第9回ASPICクラウドアワード2015」にて「ベスト海外展開賞」を受賞しました。また、一般社団法人クラウドサービス推進機構より、中小企業が安全に、そして安心して持続的にビジネスに活用できるクラウドサービスであると認められ、「クラウドサービス認定プログラム」に認定されました。



株式会社ビット・エイ 大株主に

平成27年7月16日に、ホームセンターやDIY用品、植物・園芸用品等のチェーンストアを全国展開するコメリグループの株式会社ビット・エイを割当先とする自己株式の処分を実施し、同社は当社の第2位主要株主となりました。主にコメリグループの情報処理システムの開発と運用を担う同社との関係強化により、開発案件の安定的な受注が期待されます。

マイナンバーの収集・保管サービス「マイコレキーパー」を開発・販売



クラウド型マイナンバーの収集・保管サービス「マイコレキーパー」を開発し、平成27年7月1日に販売を開始しました。現在は新機能「法定帳票オプション」を開発しており、法定調書等へのマイナンバーの印刷が可能になります。

フィリピンセブ市に 駐在員事務所開設

オフショア開発の推進を目的として、CYOLAB PTE. LTD. (本社：シンガポール)とソフトウェア・オフショア・ラボ契約を締結し、平成27年8月28日にフィリピンセブ市に駐在員事務所を開設しました。



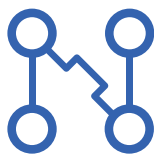
駐在員事務所が入るKEPPEL CENTERビル

株式会社イーフローより [Smart VM] 事業を譲受

平成27年12月21日、株式会社イーフローより「Smart VM」事業を譲り受けました。「Smart VM」事業とは、インターネット接続の際に使用する家庭用宅内装置に搭載される基本ソフトのライセンス販売及び関連ソフトウェアの設計・開発を支援する事業です。今後は「Smart VM」のライセンス販売による収益の拡大と、Javaに関連する開発案件の増加が期待されます。

グループ会社 株式会社ノイマン ベトナムに事業進出

自動車教習所向けソリューションを販売する株式会社ノイマンは、海外展開の第一弾として、ベトナム国内にて自動車教習所及びその他教育事業を営むVNJ Joint Stock Companyに平成27年10月19日に日本国内自動車教習所とともに資本参加し、ベトナムへの事業進出を開始しました。



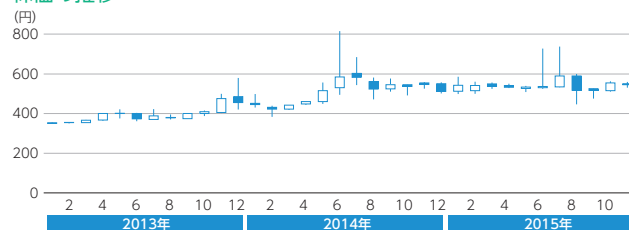
neumann

株主メモ

決算期 12月31日  
 定時株主総会 3月下旬  
 基準日 毎年 12月31日  
 配当金受領株主確定日 6月30日及び12月31日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

1単元の株式の数 100株  
 株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 (兼 特別口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 郵便物ご送付 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話お問合わせ先 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告により、ホームページ  
 (http://www.solxyz.co.jp)に掲載します。

株価の推移



株主優待

次の基準により国内産コシヒカリを贈呈しています

200株以上の株主様	2kg
1,000株以上の株主様	5kg
10,000株以上の株主様	10kg

(2015年12月末基準の200株以上の株主様に対する実績)



会社情報

(2015年12月31日現在)

社名 株式会社ソルクシーズ(東証2部 証券コード:4284)  
 設立 昭和56年2月4日  
 資本金 14億9,450万円  
 事業内容 SI/受託開発業務(システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守)、ソリューション業務(セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守)及び関連機器の販売等  
 所在地 本社 〒108-0014 東京都港区芝五丁目33番7号  
 TEL. 03-6722-5011(代表) FAX. 03-6722-5021  
 福岡営業所 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町四丁目2番  
 TEL. 092-283-8411 FAX. 092-283-8412  
 従業員数 480名(グループ計677名)  
 システムエンジニア419名、営業スタッフ19名、その他42名  
 URL http://www.solxyz.co.jp  
 子会社 株式会社エフ・エフ・ソル、株式会社イー・アイ・ソル、株式会社インフィニットコンサルティング、株式会社ノイマン、株式会社teco、株式会社エクスモーション、株式会社コアネクスト、株式会社アスウェア、株式会社インターディメンションズ



「そくくん」「あんどくん」はソルクシーズのイメージキャラクターです。



第36期 ソルクシーズ株主通信

2015年1月1日～2015年12月31日

私たちはお客様の夢を実現する  
 ソリューション・カンパニーを目指しています。  
 お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力。

Change, Challenge & Speed



証券コード:4284



## 2016年は“大輪の花を咲かせる”年

更なるステップアップを目指し  
グループの総力を挙げて企業価値向上に  
努めて参ります

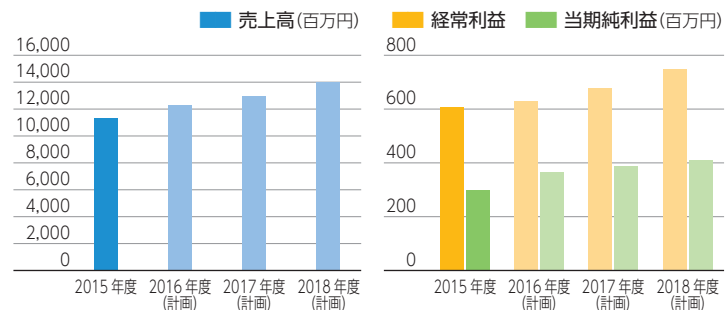
前期（2015年12月期）の総括と、今期（2016年12月期）の見通し及び今後の戦略について、代表取締役社長の長尾章より、ご説明いたします。

### Q 前期（2015年12月期）の総括

**A** 最初に、2015年12月11日に東京証券取引所市場第二部に市場変更致しましたことをご報告させていただきます。実は、第二部への市場変更はリーマンショック（2008年）前にも計画していました。しかし、大型プロジェクトの計画が中止になる等の想定外の事態が生じ、SI事業は景気変動の波に直結してしまうと改めて痛感しました。そこで、景気変動の波があっても安定的に収益を確保できる“ストックビジネスの強化”を経営の重要課題の一つに掲げたのです。現在は、中期的にストックビジネスの利益構成比を50%まで引き上げていくことを目標としています。

### 中期計画の連結売上高・利益目標

	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)	2017年度 (計画)	2018年度 (計画)
売上高	11,315	12,300	13,000	14,000
(経常利益率)	(5.4%)	(5.1%)	(5.2%)	(5.4%)
経常利益	607	630	680	750
当期純利益	300	365	390	410



ビジネス環境については、株式会社ビット・エイ様に自己株式の処分による第三者割当てを実施し、財務内容の一層の安定化を図ることができました。同社は主にホームセンターやDIY用品、植物・園芸用品のチェーンストアを全国展開する株式会社コメリのグループ会社ですから、当社の販売チャネルの拡大においてもご支援頂けるものと考えております。

また、合併会社において推進していた中国におけるサイネージ事業は、合併会社株式の当社持分の全てを譲渡し、販売形式を直販から現地代理店を活かしたOEM方式\*1に切り替えることで業績の好転を図りました。

### Q SIビジネスの状況について

**A** 連結で6年振りに最高売上を更新することができました。その主な要因は、クレジットを中心に銀行などの金融向け案件が増加し、SIビジネスが好調だったことによります。営業利益ベースでも前期比増収増益でした。但し、要員不足のために受注を見送らざるを得なかった案件の発生等により、計画対比では若干の未達となりました。要員確保の対策として、昨年は「パートナー推進室」を設置しました。また、オフショア開発に関するラボ契約を締結しているCYOLAB社とは、相互の人材交流を開始し、開発ノウハウの指導、コミュニケーションの改善などを通じ、更なる品質の向上に努めました。引き続き人材の育成と拡充に注力して参ります。

### Q スtockビジネスの状況について

**A** クラウドサービス「Cloud Shared Office」(以下、CSO)は、顧客基盤を持つ企業との連携により、着実に成長しており、海外からも問い合わせを頂いています。海外展開しているお客様との実績が評価され、「第9回ASPICクラウドアワード2015」にて「ベスト海外展開賞」を受賞、また、一般社団法人クラウドサービス推進機構より「クラウドサービス認定プログラム」にも認定して頂きました。今後はグローバル展開を視野に益々の飛躍を目指して参ります。センサーによる見守り支援システム「いまイルモ」についても、会話型見守りサービスを展開する他社との連携により、センサーと会話によって一人暮らし高齢者の元気を維持する見守り支援サービス「いまイルモplus」を開始するなど、ご利用先を拡大することができました。また、マイナンバー制度の運用開始に合

せ、企業がマイナンバーをクラウド環境でセキュアに収集・保管・管理するための支援サービス「マイコレキーパー」を開発、サービスを開始しました。

### Q グループ会社の状況について

**A** グループ会社は、それぞれの高い技術力、ユニークなサービスを活かし、全体を通して好調な実績となりました。特に、株式会社エクスモーションは、“現場のお客様と一緒に手を動かす”というコンサルティングスタイルが好評で、前期は特に大手自動車メーカー等が進めている「自動運転」関連の開発に係わる受注が極めて好調だったため、大幅な増益となりました。株式会社イー・アイ・ソルは、独自に開発した「音の可視化」ソリューションに加え、計測機器やセンサー等を利用した新しいソリューションの開発に努め、IoT\*2分野に進出しました。株式会社ノイマンは同社の自動車教習所向けデジタル教材や管理システム等を活用した海外展開を目的に、ベトナム国内にて自動車教習所及びその他教育事業を営むVNJ Joint Stock Company社に資本参加しました。

### Q 今後の成長戦略について

**A** 3つのテーマを掲げています。一つは「専門店化」です。非価格競争の強化を目標に、業種・業務別に専門特化したオンリーワンの企業・事業集団を構築します。特に、成長が見込める“自動運転”や“IoT”、“FinTech”\*3などのキーワードには引き続き注力して参ります。二つ目は、「収益構造の変革」です。先にも述べましたように、安定的に収益を確保できるストックビジネスを拡充し、主力のSIビジネスとストックビジネスの利益比率50：50を目指しております。三つ目は、「グローバル展開」です。中国・ASEAN諸国をマーケットに製品・サービスの展開を推進します。中でも、見守り支援システム「いまイルモ」、教習所向けEラーニングシステム「MUSASI」、クラウド環境のECM及び帳票サービス「CSO」はグローバル進出の切り込みに適した商材だと思っております。

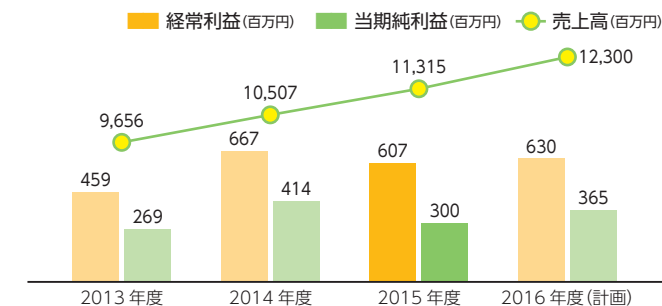
### Q 株主の皆様へメッセージを

**A** 東京証券取引所市場第二部に市場変更致しましたが、これもひとえに株主の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。2016年は「大輪の花を咲かせる」年と決めました。2015年の「青葉祭り」から花を咲かせ、来年は「大きな果実を実らせる」ことができるよう、鋭意取り組んで参ります。株主の皆様には、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

\*1 Original Equipment Manufacturing/発注元企業の名義やブランド名で販売される製品を製造すること  
\*2 Internet of Things/一意に識別可能な「もの」がインターネット/クラウドに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みのこと  
\*3 Financial technology/情報技術 (IT) を駆使して金融サービスを生み出したり、見直したりする動きのこと

## 財務データ

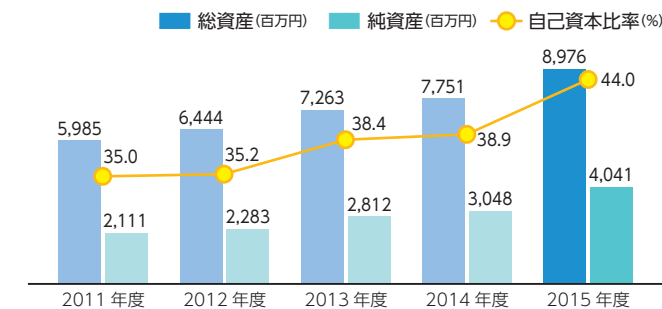
### 収益



### 当期連結収益面のPOINT

金融向けSI開発案件の大幅増収、及びグループ子会社においては銀行、投資顧問会社向けのSI開発案件、自動車メーカー向け組込系コンサル業務の増収により売上高は**前期比7.7%↑**の**11,315百万円**となりましたが、中国子会社の株式譲渡に伴う関係会社整理損等の影響により当期純利益は**同27.3%↓**の**300百万円**となりました。

### 財務



### 当期連結財務状態のPOINT

当期末総資産は、業績拡大に伴い売掛金・有価証券等の流動資産が**747百万円↑**、固定資産においてはソフトウェア、のれんの増加により**477百万円↑**となり、結果として前期末比**15.8%↑**の**8,976百万円**、当期末純資産は**同32.6%↑**の**4,041百万円**となりました。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)	2013年度	2014年度	2015年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,404	515,300	652,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 120,947	△ 484,944	△ 809,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 61,020	19,278	763,240
現金及び現金同等物の期末残高	2,015,930	2,069,889	2,676,078

(単位：千円)